

Agree

賛成討論

令和2年度当初予算は一般会計が約475億3千万円、対前年度比6.2%増となり、過去3番目の大型予算である。

令和2年度が最終年度と位置づけられる新市民体育館整備事業、新陸上競技場整備事業、（仮称）梅田浄水場建設事業、東分署移転整備事業など大型事業が過渡期を迎えることを考慮する中で、荒木市長が初めて編成する当初予算として大変厳しい舵取りであったと想像する。

限られた予算ではあるが、「前進」「創造」「挑戦」の言葉に相応しい公約実現に向けた積極姿勢を予算特別委員会の審査の中において確認させていただいた。

また、本予算は、桐生市最上位計画である桐生市第六次総合計画や第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略を始め、行政分野の計画が数多くスタートする中、当市においても自主財源の増加が見込めない限られた財源での予算編成であるが、中長期的な視点に立ち効果的・効率的な予算配分がされたことを高く評価する。

また、桐生市の将来都市像「感性育み、未来織りなす、粋なまち桐生」の創出のため、全庁一丸となって新たな財源確保に努め、将来に渡って持続可能な市政運営、財政運営をお願い賛成討論とする。

Opposite

反対討論

新年度予算は、荒木市長になって初めての予算であるが、国の悪政から市民の暮らし、生活をどう守り、まちをどう発展させるかが問われるものである。

市政運営方針において行政改革方針の確実な実行とあるが、10年間で見込まれる71億円の財源不足額を解消するために、公立幼稚園、保育園を民間委託し、使用料・手数料等の見直しをするというのは市民負担を増やすものである。

財政の問題では普通交付税の「まち・ひと・しごと創生事業費」の算定において、行革努力分の指標として「職員削減率」などを使うことを止めるよう国に要求していくべきである。

また、公共交通の充実では、市民の声を反映させて、おりひめバスをさらに充実させ、また、タクシー券の配布など高齢者などの移動の自由を確保することが重要である。

子育て支援については、中学校卒業までの医療費は無料であるが、さらに高校卒業までの医療費無料化の拡大を要望する。

国保事業及び介護保険については、それぞれの基金を活用し、保険料の引き下げを要望する。

下水道事業については、下水道使用料の値上げが行われ、市民負担が増加している。これらのことから反対討論とする。

令和2年度

予算を可決

この定例会では、令和2年度桐生市一般会計予算、8事業の特別会計、桐生市水道事業会計予算及び桐生市下水道事業会計について審議を行い、それぞれ可決しました。

同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員20人で構成）を設置し、3日間慎重に審査を行いました。

なお、本会議における討論の概要は左記のとおりです。

一般会計の補正予算

○令和元年度桐生市一般会計補正予算（第6号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億2,740万9,000円を追加し、予算の総額を468億2,013万1,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

●商工費商業振興費

空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業………360万円の増額（空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金）

●土木費道路橋梁維持費

道路照明灯更新事業………2億2,231万6,000円の追加（道路照明灯整備工事費）

○令和元年度桐生市一般会計補正予算（第7号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ3億1,301万1,000円を追加し、予算の総額を448億6,563万2,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

●教育費学校管理費

小学校ICT教育環境整備事業………1億6,611万3,000円の追加（無線校内LAN整備工事費等）

●教育費学校管理費

中学校ICT教育環境整備事業………1億571万8,000円の追加（無線校内LAN整備工事費等）

常任委員会で計画を審査

桐生市議会では、地方自治法に規定されている条例の制定や改廃、また予算を定めることなど、議会として議決しなければならない事件のほかに、「桐生市議会の議決すべき事件を定める条例」に基づいて、市政の各分野における政策及び施策の基本的な方向を定める計画、指針等についても議決事件として定め、審査を行っています。この定例会では4件の計画の策定にあたって審査を行いました。各常任委員会における質疑と答弁は下記のとおりです。

総務委員会



第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

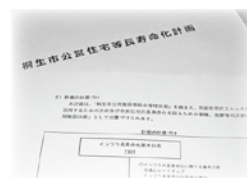
- ◎ 総合戦略の策定義務と交付金等との関係は。
- ▲ 総合戦略の策定については、基本的に努力義務であるが、総合戦略を策定していないと地方創生推進交付金の交付が受けられない。
- ◎ きりゅう暮らし応援事業等、移住・定住の促進に係る助成等の継続は。
- ▲ 最重要課題である人口減少につながる施策のため、可能な限り継続できるよう努力していきたい。
- ◎ シティブランディングの推進に係る具体的な取り組みは。
- ▲ 生き生き市役所出前講座の「みんなが主人公！シティブランディング」を継続していきたい。また、シティブランディング戦略会議の構成団体に取り組みを周知しているところであり、今後も周知する団体を増やしていきたい。

経済建設委員会



桐生市公営住宅等長寿命化計画の策定について

- ◎ 洋式便器設置の考え方は。
- ▲ 今後、桐生市公共施設等総合管理計画の中で、用途廃止を考えていくような古い住宅については、それほど修繕費をかけず現状維持で考えている。また、それ以外の和式便器については、洋式便器への取り換え又は便器の上にかぶせる形のものを研究していきたい。



教育民生委員会



第3次桐生市地域福祉計画・第3次桐生市地域福祉活動計画の策定について

- ◎ 地域における人間関係が希薄化している現状と今後の対応は。
- ▲ 桐生市に特化したことではないが、地域福祉を捉えられる中では一番大きな課題であると認識をしている。その解決のために、まずは身近な組合、ご近所の付き合いというところから出発していく必要があると考えている。地域福祉を考えていく上では、行政と社会福祉協議会が一体となって進めていく必要があり、すぐに成果は現れないかもしれないが、地道に取り組みを継続していきたい。
- ◎ 高齢者の移動手段の確保についての取り組みは。
- ▲ 高齢者の移動手段の確保については、様々な要素を組み合わせた支援が必要と考えられる。高齢者福祉の視点から、移動支援に相談機能や認知症施策等の要素を組み込んだ制度づくりなど様々な可能性を検討しているところであるが、第8期高齢者保健福祉計画の策定に向けて現在実施している高齢者アンケート調査の結果などを踏まえ、今後より具体的な検討を進めていきたい。

- ◎ 地域包括支援センターの認知度を向上させるための取り組みは。

- ▲ 地元の公民館の高齢者学級や集会所で行われているサロンなどに積極的に参加をさせていただき、チラシを配布するなど、地域包括支援センターの役割をPRしている。今後もチラシやホームページだけではなく、実際に地域に出向いて行事に参加するなど認知度向上のために取り組んでいきたい。

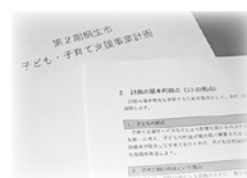
第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画の策定について

- ◎ 女性が出産に伴って離職しないための対策は。

- ▲ 育児をしながら仕事をするということで考えれば、保育園や放課後児童クラブなど、需要に見合った整備をしていくことが重要である。その中で桐生市は、0歳から12歳まで待機児童がいないという状況であり、今後も今の状態をしっかり維持しつつ、質を高めていくことが離職しないための対策のひとつであると考えている。

- ◎ 休日保育事業の実績と今後の予定は。

- ▲ 現在、休日保育は2園で実施しており、平成30年度は、671人の利用があった。今回の計画を策定するにあたって行ったニーズ調査などから2か所対応できると考えているため、3か所目については今回の計画では見合わせているが、今後の要望などの状況により必要に応じて検討していきたい。



市議会は、次の要望書を桐生市長に提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策における緊急要望書

この度の新型コロナウイルス感染症対策における、市長をはじめとする市当局の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。また、感染症の拡大が一日も早く収束することを心から願っております。

さて、新型コロナウイルスの感染者急増を受け、安倍晋三内閣総理大臣は7日、感染状況が深刻な東京都など7都府県を対象として改正新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を行いました。緊急事態宣言の対象都府県と比較しますと、群馬県内の感染者の増加は一定程度抑えられているものの、県内においてもクラスター（感染集団）の発生や市中感染の拡大傾向がみられ、今後の感染爆発の可能性を排除できない厳しい状態が続いております。今後における新型コロナウイルスの感染拡大を想定する中で、桐生市においても常に最悪の事態を想定した医療体制の構築を強く望むところです。

この度、桐生市議会の総意として、桐生市内における適切な医療体制の構築に向けた要望事項を下記のとおりまとめさせていただきます。貴職におかれましては内容を十分御了知いただき、執行に当たってご配慮をいただきますとともに、関係各位にお伝えいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 感染症指定医療機関である桐生厚生総合病院においては、完全に隔離された感染症に対応可能なフロアを整備するなど、感染者増加を想定した準備を速やかに行うこと。
2. 今後の感染者の増加を見据え、軽症者や無症状者の受入が可能な桐生市内の公共施設のリストアップを行い、必要な準備を行うとともに、民間施設の活用の可能性も含めて調査を行うこと。
3. 桐生医療圏内の各医療機関において感冒様症状の患者の受け入れ拒否等が発生しないよう、中核病院である桐生厚生総合病院と桐生医療圏内の各病院・診療所などのかかりつけ医との情報連携を密に図り、医療圏内の状況把握を逐時行うこと。

請願の審査結果

この定例会では請願6件の審査を行い、その結果、1件が不採択、5件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第2号	国に対し「消費税率を5%に引き下げることを求める意見書」の提出を求める請願

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第1号	『核兵器禁止条約の署名・批准を求める』意見書を政府にあげる事の採択を求める請願
経済建設委員会	第3号	「鳴神山登山口にトイレの設置」を求める請願
教育民生委員会	第4号	若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願
	第5号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願
	第6号	介護保険の改善を求める請願

青木けい子氏（再任）

人権擁護委員候補者

山野玲子氏（新任）

教育委員会委員

市議会は、次の人事案件2件に、同意又は異議ない旨回答することに決定しました。

人事案件

議員提出議案

「桐生市議会委員会条例の一部を改正する条例案」を可決

桐生市事務分掌条例の改正及び桐生市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の制定に伴い、所要の改正を行うための条例案が議員により提出され、審議の結果、可決されました。

▷施行期日 令和2年4月1日

全員協議会

市議会は下記のとおり全員協議会を開催し、それぞれ当局から説明を受けました。

- (1) 3月4日（水）
○新型コロナウイルス感染症対策に係る対応経過について
- (2) 3月6日（金）
○保育施設等に係る新型コロナウイルス感染症対策について

意見交換会

令和2年第1回定例会の議会報告会・意見交換会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止とさせていただきます。

ご参加、ご来場のご検討いただきました皆様、ご了承の程よろしくお願いたします。

議会報告会